



県病医療ニュース

〒870-8511 大分市豊饒二丁目8番1号 TEL097-546-7111(代表) 内線7712:県病ニュース係



※当ニュースへのご意見・ご感想は県病ウェブサイトをご利用ください。

[大分県立病院ウェブサイトはこちら](#)

産科

妊婦と新型コロナワクチン

日本産婦人科学会は妊婦のコロナワクチン接種について

- ① 時期を問わずワクチンを接種することをお勧めします。
 - ② 妊婦の夫またはパートナーの方は、ワクチンを接種することをお願いします。
- と声明を出しました。



○妊婦の新型コロナ感染によるリスクについて

妊娠中に新型コロナ感染しても基礎疾患を持たない場合、その経過は同世代の女性と変わらないとされていますが、妊娠後期に感染すると早産しやすくなったり、患者本人も一部は重症化することが報告されています。

さらに感染予防の観点から、もともと経膈分娩可能な場合でも帝王切開分娩となる可能性が高くなります。また生まれた新生児にもまれに感染が起こります。そして児の感染が起こらなかった場合は出生後から母児分離となります。

○新型コロナワクチンについて

新型コロナワクチンはメッセンジャーRNAワクチンという初めて一般的に使用されるワクチンですが、開発に関わる研究は数十年前に開始されています。

このワクチンに使われるメッセンジャーRNAは身体の中でウイルス蛋白の一部を作らせた後は数日で、この作られた蛋白の一部も2週間程度で消えてしまいます。しかし、免疫(感染防御する力)は長期間保たれるため新型コロナウィルス感染症の発症率、症状発現率、重症化率を低下させます。

また、臍帯を通して抗体が胎児に移行するため児の感染を予防する効果もあります。

○安全性について

アメリカでこのワクチンを接種した約3.5万人の追跡調査では発熱や倦怠感などの副反応の頻度は妊娠していない女性と同程度で流産、早産、胎児発育の低下、先天奇形、新生児死亡の発生率はワクチンを接種していない妊婦と変わらないという結果でした。

妊婦だから副反応が出やすいということはないと考えて良いと思います。

アレルギー体質の方も基本的にワクチン接種可能で、もしアレルギー反応が起こったとしても15-30分間のワクチン接種会場での待機時間中に医師が迅速に対応します。

授乳する場合はこのワクチン成分そのものは分泌されず、母乳中に新型コロナに対する抗体が確認されるため授乳中の子供を感染から守る効果も期待されます

(第一産科 部長 豊福 一輝)

低侵襲心臓手術(MICS)

低侵襲心臓手術(MICS)とは術式にもよりますが、左右どちらかの胸を4-6cm程度切開し、この小さな傷口から細長いピンセットと鉗などを肋骨の隙間に通し、心臓にアプローチして修復を行う手術です。

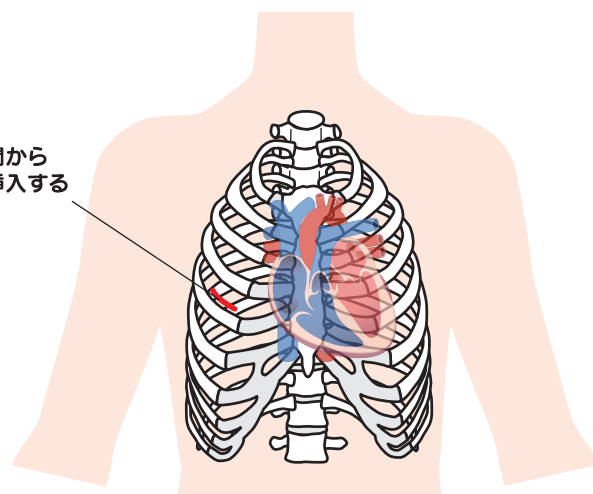
MICSのメリットは回復の早さと術後の制約の少なさです。これも術式にもよりますが、約半数の方は術後5~7日で退院され、退院後1~2週間でお仕事に戻られることが多いようです。

一方、デメリットはその難易度の高さで、症例によってはMICSができない場合もあります。また、MICSは術者だけでなく、麻酔医・看護師・臨床工学技士などを含めた高度なチーム医療が求められます。

MICSの適応疾患

- ・僧帽弁・三尖弁形成術、置換術
- ・大動脈弁置換術
- ・冠動脈バイパス術
- ・先天性心疾患の一部
- ・不整脈手術(Maze手術)

手術創
肋骨の間から
器具を挿入する



小切開低侵襲心臓手術:MICS(右開胸)

ロボット手術

ロボット手術はさらに侵襲が少なく、創部が3cm程度となり、3D画像で目の前に6倍近くに拡大された病変を見ながら、自分の手の動きを細やかにアームに伝え、手振れも防ぐことができます。この機械であれば米粒にもきれいな字が書けるほどです。骨に全く負担がかからず、術後疼痛も軽減され、かつ精密な手術が可能となります。

2018年4月1日より僧帽弁形成術、三尖弁形成術に対して健康保険が適用(限度額認定証の使用が可能)になりました。



ダビンチ ロボット手術

現在、当院でもこれらの最先端の心臓手術に向けて検討しているところです。

(心臓血管外科 部長 山田 卓史)



看護師ほか医療スタッフの
臨時職員を募集しています。
詳しくはこちら